

## ●健康づくり講習会 《私たちの健康は私たちの手で！》

平成28年2月2日、波佐見町食生活改善推進協議会（波佐見町役場内）主催で、3年生20名を対象に「健康づくり講習会」を波佐見町農村環境改善センター（研修室・調理実習室）で実施いたしました。

生徒たちは、健康的な食事についての講義を受けた後、**鮭のちゃんちゃん焼き、おにぎり、豚汁、マカロニサラダ**などを実際に作りました。自分たちで作ったものを、指導をいただいた波佐見町食生活改善推進協議会の方々と一緒に食べ、卒業後の話を花を咲かせていました。（3学年 小佐々 武）



## ●卒業生へ贈る言葉！（3学年の先生方より）

（3年学年主任 平林宏幸）

○「水滴石穿」～ 続けてさえいれば、いつか成功する～

（3-1担任 竹下夏佳）

○卒業おめでとう。「挑戦」と同時に「結果を想像すること」も忘れずに。ご多幸をお祈りします。

（3-1副担任 田原孝一）

○卒業おめでとうございます。これまで皆さんを支えてくれた多くの人達への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。常に前進、常に一歩です。

（3-2担任 木藤健太）

○失敗することを恐れるな！恥をかくことを恐れるな！！行動を起こさなければ何も始まらない！！

（3-2副担任 辻 健太郎）

○「やってできない訳がない、やらずにできる訳がない」4月からいろんな事にチャレンジして下さい。

（3-3担任 小佐々 武）

○卒業おめでとう。まず自立すること。そして、余裕が出来たら他人の為に生きて幸せにするよう努力しよう。

（3-3副担任 岡村俊弘）

○All's Well That Ends Well

（3-4担任 丸屋陽子）

○卒業おめでとうございます。人の痛みのわかる人間になってください。

（3-4副担任 宮崎 恵）

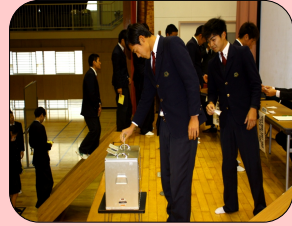
○「恕（じょ）の心」を大切に。他人の立場や心情を察すること。その気持ち、思いやりを意味します。

（3-1・2副担任 安達 健）

○「誠実は、どこでも通用する唯一の貨幣である」と昔の人は言いました。私もこの言葉を贈ります。卒業おめでとう。

（3学年担当 中村 寧）

○何事にも一生懸命に！ そして、一所懸命に！



〈校訓〉 自律・積極・究理

# 波高通信



〈スローガン〉「チーム波佐見」～常に前進 常に一歩～

第23号 平成28年3月1日発行

## 校長室より

## 『自分の物語を』



第39回卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんには、これからの人生を自分らしく主体的に生きていって欲しいと思います。

波佐見町が生んだ偉人に、原マルチノという人がいます。彼は、激動の時代の中で自分らしく主体的に生きた人でした。原マルチノは、今から400年以上前、天正10年（1582年）に天正遣欧少年使節、4人の中の一人としてヨーロッパに派遣されました。その目的は、ヨーロッパの様子を自分たちの目で見て、その進んだ文化を日本に知らせるというものでした。使節団出発当時の日本は織田信長の世でしたが、8年半の旅を終えて帰国した時は豊臣秀吉の世でした。その後、徳川家康が天下を支配し時代は大きく変わってしまいました。しかし、マルチノは、キリスト教弾圧などの逆境にも関わらず、決して自らの信念を曲げませんでした。マルチノは、旅に出ている間はもちろん、その前後も幾多の荒波を越えながら、多くの人々に出会い、支えられ、自らを厳しく律し、語学をはじめ様々なことを必死に学びました。様々なことに積極果敢にチャレンジしました。原マルチノは、自分の使命と置かれた境遇をしっかりと受けとめ、まさにその一回しかない人生を、自分らしく主体的に信念を持って生きた人でした。

自分らしく主体的に生きるとは、「自分の人生を創っていくのは、自分自身である」という思いで生きることです。自分の人生は、他人によって振り回されたりするものではなく、すべて自分の選択によって創られていくという立場をとることです。私たちには、たった一度しか生きるチャンスは与えられていません。一度しかない自分の人生は、自分が背負っていくしかないのです。誰も代わりに背負ってはくれません。それが、自分らしく主体的に生きるということです。

卒業生の皆さん、私は、面接練習の中で必ず皆さんにした質問があります。それは「今の自分と高校入学時の自分とを比べて、一番伸びたところはどこですか？」という質問です。皆さんからは、次のような回答が返ってきました。

○自分からできなかったあいさつができるようになった。

○自分の考えや気持ちを堂々と話すことができるようになった。

○人と明るく接する事ができるようになった。

○自己中心的な考えを改め、仲間を思いやる心が身についた。人の気持ちが分かるようになった。

○「できるはずがない、無理だ」という考えから、「やればできる」と思えるようになった。

素晴らしい回答ばかりです。波佐見高校は、校訓に謳ってあるように、自らを厳しく律し、何事にも積極果敢にチャレンジし、物事の真理を明らかにする学校です。皆さんは、この波佐見高校の3年間で、校訓を見事に実現しました。自分らしく主体的に生きていくための基礎基本をしっかりと身につけました。自信を持って、たった一度しかない人生を自分らしく主体的に生きていってください。皆さんの目の前には、激動する世界が待ち受けています。現代は、誰も先を予測することができない時代です。しかし、そのような変革の時代であるからこそ、夢を叶えるチャンスが随所にあると思います。皆さんは、卒業しても「チーム波佐見」のメンバーです。「常に前進！ 常に一歩！」目を未来に向け、新しいものや未知なものにあこがれ、大志を胸に勇気を持っていろいろなことにチャレンジしていきましょう。自分にふさわしい、自分の物語をつくっていきましょう。卒業生の皆さんの活躍を心から祈っています。

（第39回卒業証書授与式校長式辞より 野田定延）



## 校内ロードレース大会

### 《強い精神力を養う！》

2月5日（金）に、校内ロードレース大会が開催されました。これは生徒の心肺機能の強化を図り、強い精神力を身に付けることを目的に毎年恒例の行事です。この日は、この時期としては暖かく、絶好のコンディションの中、男女別にスタートしました。**町内の周回コース（男子12キロ・女子8キロ）を元気に走り抜きました。**スタート前は、緊張していた生徒たちもゴールすると「気持ちいい」「完走したー」「自己ベストだ」と笑顔で話していました。

記録に挑戦した人、完走を目指した人と、それぞれの目標に全員が最後まで諦めずに頑張り、自分との戦いを制して、充実感・満足感を味わいました。結果は、**男子の部で平野弘陽君（2-3）が1位、黒田斐絢君（2-2）が2位で共に大会新、女子の部では松尾萌絵さん（1-4）が大会新で1位でした。**今後の活躍を期待しています。保護者の方々には、前日の夜遅くまで、当日は朝早くから、美味しい豚汁とおにぎりを提供していただき感謝しています。生徒たちは「暖かい！」「美味しい！」と言いながら最高の笑顔を見せていました。

（体育科 永瀬 諒）



## ●豚汁炊き出し 《温かいご褒美に感謝！》

2月5日（金）冬の快晴の下、校内ロードレース大会が行われました。今年は絶好の日和で、肌を刺す寒風もなく、全員が完走し、ハトハトになりながらも、完走の達成感と充実感の笑顔を十二分に味わうことができました。

味わうと言えば、もちろん豚汁です。**生徒たちは頑張ったご褒美として、美味しい豚汁とおにぎりを舌鼓を打っていました。**これは二十数名のお母さん方が前日の夜8時過ぎまで仕込みをし、翌朝も7時頃から準備にとりかかり作ってくださったものです。子どもたちの笑顔を見たい一心で、お忙しいのに時間を割いて、頑張られたのです。お手伝いをいただいたお母さん、お父さん方、ご協力いただきましたことを、本当に感謝いたします。ありがとうございました。

（教務主任 安達 健）



## 1学年インターンシップ(職場体験)

### 『働くことの充実感や喜びを学ぶ』

1年生のインターンシップ（職場体験）を2月8日（月）～10日（水）まで実施しました。生徒たちは、仕事に真剣に向き合い、多くのことを習得しようという姿勢が見られ、その姿には頼もしさを感じました。また、生徒たちの表情は普段にも増して、笑顔が溢れ、いきいきと3日間のインターンシップを過ごしていたようでした。

車関係の職場で働いた生徒は、「はじめは何をしたらよいかわからなかったけど、自分から積極的に作業ができるようになり、お客様や職場の方からも“ありがとう”と言われて嬉しかった。」また、保育園で働いた生徒は、「子どもたちはとても可愛く、癒やされた。初めてのおむつ換えは、不安ながらも一生懸命取り組んだ。」と話していました。**生徒は普段の生活から離れ、働くことの充実感や喜びを学ぶことができたようです。**

2月12日（金）には体育館で「インターンシップ発表会」が行われ、生徒全員が前に出て、自分たちの体験を発表しました。短い準備時間に関わらず、それぞれの職場で体験したことや教わったことを、自作の資料等を用いて堂々と発表していました。この経験で、今後の学校生活が積極的になり、進路決定にも役立つことを期待しています。



（1学年 椋本千帆）

## 2年生修学旅行

### 『感動の旅！』

2月9日（火）から3泊4日の日程で、2学年の修学旅行が実施されました。最初の2日間は1組～4組は長野県上田市の菅平高原でスキー研修、5組は浅草寺・美術館鑑賞・大学訪問、3日目にディズニーランド、スカイツリー、4日目にお台場を自主研修しました。

菅平高原の初めて見る大量の雪に、生徒は感動していました。初日のナイタースキーを皮切りにインストラクターの丁寧な指導もあり、生徒はみるみる上達し、かなりのスピードで頂上から滑り降りてくる者もいました。殆どの生徒が、十分達成感を得ることができて、充実した研修となりました。

スカイツリーでは時間がなく、ゆっくりとは見学できませんでしたが、東京のビル群を一望でき、都会の雰囲気をも十分に味わいました。東京ディズニーランドでは、あまりの人の多さに戸惑っている生徒もいましたが、自分たちで計画を立て、パレード見学・アトラクションの乗り物・買い物に、楽しく取り組んでいました。ホテルまでの帰り道で迷った生徒もいましたが、事故も無く終了しました。

お台場では、フジテレビの人気番組を記念撮影していたり、いろんな場所を散策していました。**天候に恵まれ、スキー研修で大怪我をする生徒もなく、更に病人が1名も出なかったことで、全て予定通りに実施することができて、実りある修学旅行となりました。**



（2学年主任 今村 勲）

## 美術・工芸科 修学旅行

### 美術に親しむ（東京編）

2月9日（火）から3泊4日の日程で、2学年の修学旅行が実施されました。美術・工芸科の生徒は、1日目から3日目午前中にかけて、東京都美術館・国立新美術館・三鷹の森ジブリ美術館・浅草寺（仲見世通り）・東京藝術大学・横浜美術大学の見学と美術に関する講演会を実施しました。（普通科・商業科はスキー研修。なお、3日目午後からは全クラス合流し、同行）美術館見学では、**普段観ることができない素晴らしい絵画作品や現代美術作品を鑑賞することができました。**また、美術に関する講話では、東京藝術大学出身で美術系の冊子や教科書の編集をされている藤原えりみ先生に、現代作家の紹介や美術冊子の製作行程、そして美術館での鑑賞のポイントなどについて話をいただきました。

クラスの仲間達と一緒に過ごせた楽しい修学旅行になりました。

（美術・工芸科 立井 匡樹）



## 平成28年3月の行事予定

### 1日は第39回卒業式です

3月1日(火) 第39回卒業式	3月2日(水) 代休日
3月4日(金) 進路ガイダンス(1・2年)	3月8日(火)～9日(水) 高校入試
3月16日(水) 合格者発表	3月22日(火) 球技大会
3月24日(木) 終業式・離任式	3月25日～4月5日 物作りインターナショナル



